

北海道エアシステム（HAC）小林機長の手作り模型飛行機を 小林機長と航空ファンの皆様のご協力のもと展示いただきました！

このたび、当空港ビル2階「札幌いま・むかし探検ひろば」に、HAC 小林機長の手作り模型飛行機を、小林機長と航空ファンの皆様のご協力のもと展示いただきました。

昭和31年（1956年）に当空港から定期便として運航していた北日本航空のDC-3をはじめ、これまで当空港で活躍した東亜国内航空及び日本近距離航空から社名変更したエア・ニッポンのYS-11、全日本空輸のF-27、エア・北海道のDH-6の飛行機を展示しております。

また、当空港ビル2階レストラン「丘珠キッチン前の特設コーナー」では、エア・ニッポンネットワークのDHC8-Q300、北海道エアシステムのSAAB340B、ATR42-600型機、FDAのERJ170等を展示しており、当空港の定期便機材の変遷を見ることが出来ます。

是非、お時間の許す限り、精巧な作品をご覧くださいければ幸いです。

（展示期間 令和4年3月31日まで 6時30分～17時30分（予定））

※小林機長、航空ファンの皆様、ご協力誠にありがとうございました。

～2階「札幌いま・むかし探検ひろば」の様子～



～2階「レストラン：丘珠キッチン前」の特設コーナーの様子～

